

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 4 月 15 日 (2021.4.15)

【公開番号】特開 2019-146758 (P2019-146758A)

【公開日】令和 1 年 9 月 5 日 (2019.9.5)

【年通号数】公開・登録公報 2019-036

【出願番号】特願 2018-33379 (P2018-33379)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 2 月 19 日 (2021.2.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の演出を実行可能な演出実行手段と、  
第 1 条件の成立により、判定情報を取得する取得手段と、  
第 2 条件の成立により、取得された前記判定情報に基づき遊技者に有利な特別遊技の実行か否かの第 1 判定を行う第 1 判定手段と、  
前記第 1 判定手段による前記第 1 判定の結果が前記特別遊技の実行の場合には、前記特別遊技を実行する特別遊技実行手段と、  
前記第 2 条件が成立する前に、取得された前記判定情報に基づき前記特別遊技の実行か否かの第 2 判定を行う第 2 判定手段と、を備え、  
前記特別遊技には、遊技内容が互いに異なる複数種類の特別遊技があり、  
前記演出実行手段は、  
前記取得手段によって取得された第 1 の判定情報に基づく前記第 1 判定が前記特別遊技の実行の場合には、その特別遊技の実行中に示唆表示を行うときがあり、  
前記示唆表示を行う場合には、前記遊技内容を示唆する通常示唆表示を行うときと、  
前記第 1 の判定情報よりも後に取得された第 2 の判定情報に基づく前記第 2 判定の結果に基づいて、連続的に前記特別遊技が実行されることを示唆する特別示唆表示を行うときと、  
があることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明の遊技機は、  
所定の演出を実行可能な演出実行手段と、  
第 1 条件の成立により、判定情報を取得する取得手段と、  
第 2 条件の成立により、取得された前記判定情報に基づき遊技者に有利な特別遊技の実行か否かの第 1 判定を行う第 1 判定手段と、  
前記第 1 判定手段による前記第 1 判定の結果が前記特別遊技の実行の場合には、前記特

別遊技を実行する特別遊技実行手段と、

前記第２条件が成立する前に、取得された前記判定情報に基づき前記特別遊技の実行か否かの第２判定を行う第２判定手段と、を備え、

前記特別遊技には、遊技内容が互いに異なる複数種類の特別遊技があり、

前記演出実行手段は、

前記取得手段によって取得された第１の判定情報に基づく前記第１判定が前記特別遊技の実行の場合には、その特別遊技の実行中に示唆表示を行うときがあり、

前記示唆表示を行う場合には、前記遊技内容を示唆する通常示唆表示を行うときと、前記第１の判定情報よりも後に取得された第２の判定情報に基づく前記第２判定の結果に基づいて、連続的に前記特別遊技が実行されることを示唆する特別示唆表示を行うときと、があることを特徴とする。